

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公表番号】特表2020-516280(P2020-516280A)

【公表日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2019-555594(P2019-555594)

【国際特許分類】

C 12 Q 1/6883 (2018.01)

C 12 Q 1/6858 (2018.01)

C 12 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 12 Q 1/6883 Z N A Z

C 12 Q 1/6858 Z

C 12 N 15/09 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月24日(2021.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】

(A-2) 前記生体試料からの第3のTGFBI遺伝子配列を増幅するステップであって、前記反応混合物が、R124S, A546D, H572RおよびH626Rからなる群から選択される第3のTGFBI変異のための第3の標識プローブをさらに含むステップと、

(B-2) 前記第3の標識プローブを、前記第3のTGFBI遺伝子配列とハイブリダイズするステップと、

(C-2) 前記第3の標識プローブの、前記第3のTGFBI遺伝子配列とのハイブリダイゼーションに基づき、前記第3のTGFBI遺伝子配列における変異を検出するステップと

をさらに含む、請求項16または17に記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

いくつかの実施形態において、本明細書において記述されている本発明の方法に従って調製された約1μL、約2μL、約3μL、約4μLまたは約5μLのゲノムDNA試料を、約0.05μL、約0.10μL、約0.15μL、約0.20μL、約0.25μLまたは約0.25μLの30X、35X、40X、45X、50Xまたは100XリアルタイムPCRアッセイミックスおよび蒸留水のみと組み合わせて、PCRマスター-ミックスを形成することがわかった。いくつかの実施形態において、PCRマスター-ミックスは、約1.5μL、約2.5μL、約5μL、約6μL、約7μL、約8μL、約9μL、約10μL、約11μL、約12μL、約13μL、約14μL、約15μL、約16μL、約17μL、約18μL、約19μLもしくは約20μLまたはそれ以上の最終体

積を有する。いくつかの実施形態において、P C R マスター ミックスを形成するために、 $2 \mu L$  の上述した通りに調製したゲノム D N A 試料を、約  $0.15 \mu L$  の  $40X$  リアルタイム P C R アッセイ ミックスおよび  $2.85 \mu L$  の蒸留水のみと組み合わせることがわかった。